

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、インドの株式（※）の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 時価総額や流動性等を勘案します。</p> <p>ハ. 個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。</p> <p>④株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>（※）株式…DR（預託証券）を含みます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第17期

(決算日 2016年6月16日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド」は、このたび、第17期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4777>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
13期末(2014年6月16日)	円 6,351	円 0	% 32.5	7,353	% 23.7	% 92.4	% 3.8	百万円 16,168
14期末(2014年12月16日)	7,244	0	14.1	8,551	16.3	95.7	2.3	17,261
15期末(2015年6月16日)	7,184	0	△ 0.8	8,784	2.7	93.5	3.4	18,353
16期末(2015年12月16日)	6,332	0	△ 11.9	8,033	△ 8.5	94.9	3.8	15,550
17期末(2016年6月16日)	5,635	0	△ 11.0	7,343	△ 8.6	92.9	4.0	13,745

(注1) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

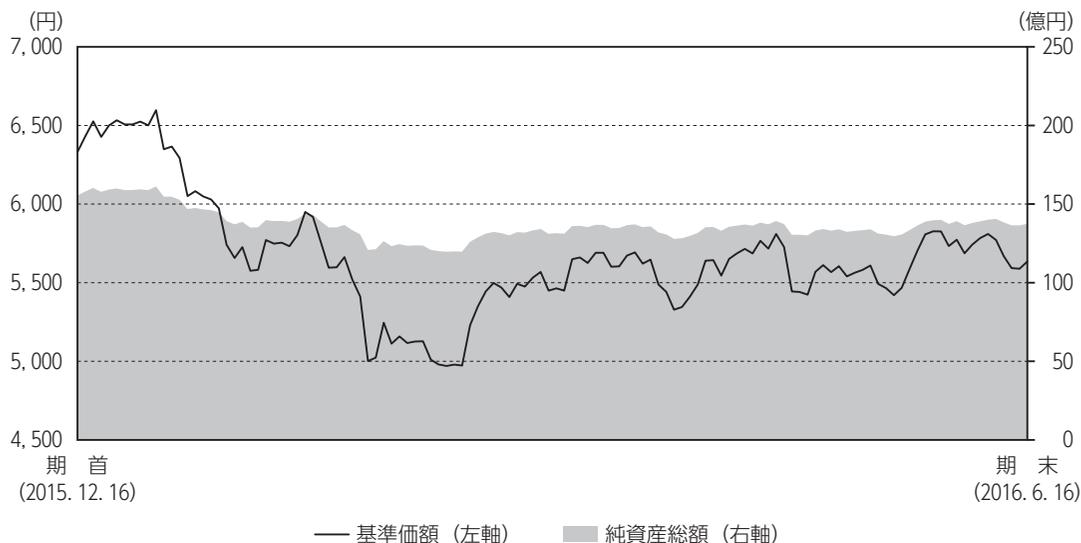
(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■基準価額・騰落率

期首：6,332円

期末：5,635円

騰落率：△11.0%

## ■基準価額の主な変動要因

インド株式市況は、中央銀行による追加金融緩和期待や経済活性化期待などを背景に上昇しました。しかし、原油価格の下落や中国経済への懸念などを背景とした世界的なリスク回避の動きから生じた大幅な円高インド・ルピー安の影響が株価上昇のプラス要因を上回った結果、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2015年12月16日	6,332	—	8,033	—	94.9	3.8
12月末	6,501	2.7	8,232	2.5	93.7	3.8
2016年 1 月末	5,803	△ 8.4	7,558	△ 5.9	94.0	4.0
2 月末	4,979	△ 21.4	6,735	△ 16.2	93.6	4.2
3 月末	5,672	△ 10.4	7,515	△ 6.5	93.6	4.0
4 月末	5,726	△ 9.6	7,543	△ 6.1	94.0	4.0
5 月末	5,827	△ 8.0	7,697	△ 4.2	93.8	4.1
(期末) 2016年 6 月16日	5,635	△ 11.0	7,343	△ 8.6	92.9	4.0

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

## ○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

期首から2016年1月上旬にかけて、米国が7年ぶりに実質ゼロ金利政策を解除し市場の予想通り政策金利の引き上げを決定したことで、同国の金融政策をめぐる不透明感が後退したことなどにより、インド株式市況は上昇基調で始まりました。その後は、中国景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落基調に転じました。3月以降は、米国の追加利上げ観測や、中国の低調な経済指標などの外部要因が重しとなる局面が一時的にあったものの、2016年度予算案でインフラ（社会基盤）整備向け予算が増額されたこと、インフレ率の低下を背景に中央銀行による追加利下げへの期待が高まったこと、気象局予報で2016年のモンスーン期の降雨量が平年を上回り農村部を中心に地方経済の活性化が期待されたこと、大手企業の業績発表が好調だったことなどが支援材料となり、期末にかけておおむね上昇基調となりました。

## ○為替相場

インド・ルピーは円に対して下落しました。

原油価格の下落や中国経済への懸念などを背景とする世界的なリスク回避の動きを受けて、インド・ルピーは下落基調となりました。2016年度予算案で財政赤字を削減する方針が堅持されたことなど、インド・ルピー高材料もありましたが、日銀が金融政策決定会合で追加の金融緩和策を打ち出さなかったことや、米国の追加利上げペースが減速するとの見方を背景に円高米ドル安が進行したことなどもあり、対円で大幅なインド・ルピー安となりました。

**前期における「今後の運用方針」**

## ○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

## ○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、政府による公務員の給与引き上げ勧告などが消費需要喚起につながると期待されることから、一般消費財・サービスセクターに注目しています。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

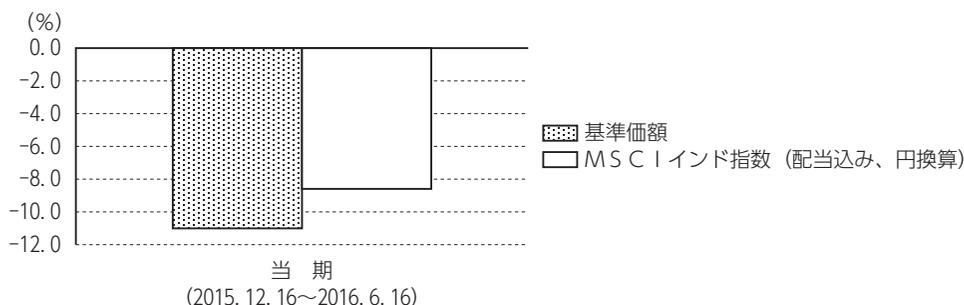
### ○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

当ファンドでは、主にインフラ投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ないました。業種では、高い経済成長を背景に不動産投資や資金需要の増加が期待される金融セクター、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクターを組入上位としました。個別銘柄では、国内自動車市場の回復や新製品の投入による堅調な成長が見込まれる大手自動車企業 MARUTI SUZUKI INDIA LTD（一般消費財・サービス）、販売量の回復が見込まれることに加え、株価が下落した局面で割安感が高まったと判断した消費財大手 HINDUSTAN UNILEVER LTD（生活必需品）、堅調な販売量が見込まれる輸送用機器企業 EICHER MOTORS LTD（資本財・サービス）などを買付けました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年12月17日 ～2016年6月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	231

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、地方経済の活性化からの恩恵が期待される輸送用機器企業、堅調な広告収入の成長が見込まれるメディア企業などを中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、新商品の投入による堅調な成長が期待される消費財企業などを中心に、生活必需品セクターにも注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 12. 17~2016. 6. 16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	51円	0.907%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は5,661円です。</b>
(投信会社)	(24)	(0.432)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(24)	(0.432)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	14	0.241	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(13)	(0.235)	
(先物)	(0)	(0.006)	
有価証券取引税	6	0.099	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(6)	(0.099)	
その他費用	4	0.067	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.059)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	74	1.314	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年12月17日から2016年6月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	749,263	492,000	1,084,380	720,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年12月17日から2016年6月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	9,519,970千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,040,884千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.73

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	21,490,490	21,155,373	13,719,259

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	13,719,259	98.8
コール・ローン等、その他	172,442	1.2
投資信託財産総額	13,891,702	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝105.68円、1インド・ルピー＝1.59円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(13,585,425千円)の投資信託財産総額(14,079,840千円)に対する比率は、96.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,891,702,472円
コール・ローン等	161,442,480
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	13,719,259,992
未収入金	11,000,000
(B) 負債	146,243,724
未払解約金	21,557,155
未払信託報酬	124,316,668
その他未払費用	369,901
(C) 純資産総額(A-B)	13,745,458,748
元本	24,394,701,884
次期繰越損益金	△ 10,649,243,136
(D) 受益権総口数	24,394,701,884口
1万口当り基準価額(C/D)	5,635円

\* 期首における元本額は24,558,717,116円、当期中における追加設定元本額は1,495,363,027円、同解約元本額は1,659,378,259円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は5,635円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,649,243,136円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月17日 至2016年6月16日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	△ 5,192円
受取利息	6,151
支払利息	△ 11,343
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	△ 1,485,791,910
売買益	93,751,616
売買損	△ 1,579,543,526
<b>(C) 信託報酬等</b>	△ 124,686,829
<b>(D) 当期損益金 (A+B+C)</b>	△ 1,610,483,931
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	△ 3,293,410,623
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	△ 5,745,348,582
(配当等相当額)	( 237,749,436)
(売買損益相当額)	(△ 5,983,098,018)
<b>(G) 合計 (D+E+F)</b>	△ 10,649,243,136
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	△ 10,649,243,136
追加信託差損益金	△ 5,745,348,582
(配当等相当額)	( 237,749,436)
(売買損益相当額)	(△ 5,983,098,018)
分配準備積立金	327,473,668
繰越損益金	△ 5,231,368,222

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：34,264,888円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	237,749,436
(d) 分配準備積立金	327,473,668
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	565,223,104
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	565,223,104
(h) 受益権総口数	24,394,701,884口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第17期 (決算日 2016年6月16日)

(計算期間 2015年12月17日～2016年6月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
運用方法	<p>①主として、インドの株式（※）の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ、主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。</p> <p>ロ、時価総額や流動性等を勘案します。</p> <p>ハ、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。</p> <p>④株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>（※）株式…DR（預託証券）を含みます。</p>
株式組入制限	無制限

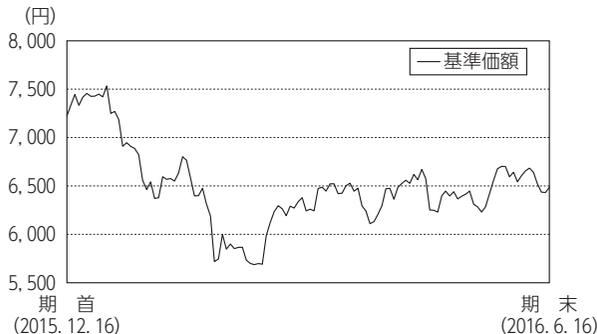
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株 組 比	式 先 入 率	式 先 比 率
	円	%	騰落率 (参考指数)	騰落率			
(期首) 2015年12月16日	7,223	—	8,039	—	95.0	3.8	
12月末	7,421	2.7	8,238	2.5	93.9	3.8	
2016年1月末	6,633	△ 8.2	7,564	△ 5.9	94.2	4.0	
2月末	5,698	△ 21.1	6,740	△ 16.2	93.8	4.2	
3月末	6,503	△ 10.0	7,520	△ 6.5	93.8	4.0	
4月末	6,575	△ 9.0	7,548	△ 6.1	94.2	4.0	
5月末	6,702	△ 7.2	7,702	△ 4.2	94.0	4.1	
(期末) 2016年6月16日	6,485	△ 10.2	7,349	△ 8.6	93.1	4.0	

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：7,223円 期末：6,485円 騰落率：△10.2%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況は、中央銀行による追加金融緩和期待や経済活性化期待などを背景に上昇しました。しかし、原油価格の下落や中国経済への懸念などを背景とした世界的なリスク回避の動きから生じた大幅な円高インド・ルピー安の影響が株価上昇のプラス要因を上回った結果、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

期首から2016年1月上旬にかけて、米国が7年ぶりに実質ゼロ金利政策を解除し市場の予想通り政策金利の引き上げを決定したことなどで、同国の金融政策をめぐる不透明感が後退したことなどにより、インド株式市況は上昇基調で始まりました。その後は、中国景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落基調に転じました。3月以降は、米国の追加利上げ観測や、中国の低調な経済指標などの外部要因が重しとなる局面が一時的にあったものの、2016年度予算案でインフラ(社会基盤)整備向け予算が増額されたこと、インフレ率の低下を背景に中央銀行による追加利下げへの期待が高まったこと、気象局予報で2016年のモンスーン期の降雨量が平年を上回り農林部を中心に地方経済の活性化が期待されたこと、大手企業の業績発表が好調だったことなどが支援材料となり、期末にかけておおむね上昇基調となりました。

○為替相場

インド・ルピーは円に対して下落しました。

原油価格の下落や中国経済への懸念などを背景とする世界的なリスク回避の動きを受けて、インド・ルピーは下落基調となりました。2016年度予算案で財政赤字を削減する方針が堅持されたことなど、インド・ルピー高材料もありましたが、日銀が金融政策決定会合で追加の金融緩和策を打ち出さなかったことや、米国の追加利上げペースが減速するとの見方を背景に円高米ドル安が進行したことなどもあり、対円で大幅なインド・ルピー安となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、政府による公務員の給与引き上げ勧告などが消費需要喚起につながると期待されることから、一般消費財・サービスセクターに注目しています。

◆ポートフォリオについて

当ファンドでは、主にインフラ投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ないました。業種では、高い経済成長を背景に不動産投資や資金需要の増加が期待される金融セクター、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクターを組入上位としました。個別銘柄では、国内自動車市場の回復や新製品の投入による堅調な成長が見込まれる大手自動車企業 MARUTI SUZUKI INDIA LTD (一般消費財・サービス)、販売量の回復が見込まれることに加え、株価が下落した局面で割安感が高まったと判断した消費財大手 HINDUSTAN UNILEVER LTD (生活必需品)、堅調な販売量が見込まれる輸送用機器企業 EICHER MOTORS LTD (資本財・サービス)などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安

定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、地方経済の活性化からの恩恵が期待される輸送用機器企業、堅調な広告収入の成長が見込まれるメディア企業などを中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、新商品の投入による堅調な成長が期待される消費財企業などを中心に、生活必需品セクターにも注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	16円
(株式)	( 15)
(先物)	( 0)
有価証券取引税	6
(株式)	( 6)
その他費用	4
(保管費用)	( 4)
(その他)	( 0)
合 計	26

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2015年12月17日から2016年6月16日まで)

買 柄	当 付			期 売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	43.1	317,467	7,365	OIL & NATURAL GAS CORP LTD (インド)	809	277,430	342
HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	190.7	261,349	1,370	ITC LTD (インド)	455.6	249,298	547
EICHER MOTORS LTD (インド)	6.86	211,929	30,893	INFOSYS LTD (インド)	90.5	180,009	1,989
AXIS BANK LTD (インド)	268	210,554	785	TECH MAHINDRA LTD (インド)	186	167,282	899
TATA MOTORS LTD (インド)	339.5	206,217	607	CESC LTD (インド)	179.142	158,815	886
SHREE CEMENT LTD (インド)	9.243	200,199	21,659	ADANI PORTS AND SPECIAL ECON (インド)	486.1	150,831	310
ULTRATECH CEMENT LTD (インド)	37.6	195,783	5,206	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	37.1	135,255	3,645
TATA POWER CO LTD (インド)	1,643.195	185,170	112	TORRENT PHARMACEUTICALS LTD (インド)	52.25	133,015	2,545
HERO MOTOCORP LTD (インド)	35.6	175,689	4,935	POWER GRID CORP OF INDIA LTD (インド)	541.6	130,771	241
KOTAK MAHINDRA BANK LTD (インド)	136	155,198	1,141	BHARTI AIRTEL LTD (インド)	238.8	126,507	529

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2015年12月17日から2016年6月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 — ( —)	千アメリカ・ドル — ( —)	百株 1,792	千アメリカ・ドル 2,115
	インド	百株 71,467.53 ( 6,487.24)	千インド・ルピー 2,724,613 ( —)	百株 142,644.15	千インド・ルピー 2,792,025

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2015年12月17日から2016年6月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	3,324	3,313	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	5,321	3,900	2,835	299,634	金融
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	2,290.33	1,919.33	5,566	588,220	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	7,611.33	5,819.33	8,401	887,855	
株数、金額 銘柄数 < 比率 >	2銘柄	2銘柄		<6.5%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
(インド)					
ADLABS ENTERTAINMENT LTD	7,378.88	7,129.99	57,075	90,750	一般消費財・サービス
TV18 BROADCAST LTD	19,495.97	19,495.97	81,395	129,419	一般消費財・サービス
CYIENT LTD	839.9	—	—	—	情報技術
NBCC INDIA LTD	1,086	4,387.9	80,671	128,267	資本財・サービス
RALLIS INDIA LTD	1,971.1	—	—	—	素材
GUJARAT STATE PETRONET LTD	3,756.95	—	—	—	公益事業
UNITED BREWERIES LTD	—	461	35,132	55,861	生活必需品
TATA STEEL LTD	1,811	—	—	—	素材
AXIS BANK LTD	—	2,680	141,718	225,332	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	380.5	811.5	341,609	543,158	一般消費財・サービス
ACC LTD	564.06	—	—	—	素材
TATA POWER CO LTD	—	8,414.95	64,416	102,422	公益事業
OBEROI REALTY LTD	2,517.13	1,681.49	47,014	74,752	金融
BAYER CROSCIENCE LTD	128.06	—	—	—	素材
BANK OF BARODA	—	2,879	43,703	69,488	金融
ASHOK LEYLAND LTD	—	7,178	73,933	117,554	資本財・サービス
ASIAN PAINTS LTD	2,211.02	2,307.02	230,332	366,229	素材
NESTLE INDIA LTD	—	51.22	33,252	52,871	生活必需品
HINDUSTAN UNILEVER LTD	1,069	2,976	260,295	413,870	生活必需品
HINDUSTAN PETROLEUM CORP	—	1,050	96,495	153,427	エネルギー
STATE BANK OF INDIA	13,018	10,716	231,519	368,115	金融
TATA COMMUNICATIONS LTD	2,303.08	1,934.08	87,043	138,398	電気通信サービス
NTPC LTD	4,381	—	—	—	公益事業
UNITED SPIRITS LTD	112	—	—	—	生活必需品
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	6,800.52	1,384.52	21,376	33,989	公益事業
VOLTAS LTD	1,507	1,507	49,783	79,156	資本財・サービス
CESC LTD	1,791.42	—	—	—	公益事業
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	1,048.58	1,132.58	152,841	243,018	資本財・サービス
BAJAJ FINSERV LTD	—	228	44,389	70,579	金融
BAJAJ AUTO LTD	618	565	147,100	233,889	一般消費財・サービス
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	753.58	425.58	43,026	68,411	エネルギー
NATIONAL ALUMINIUM CO LTD	23,429.86	8,224.58	34,460	54,792	素材
MARICO LTD	2,257.32	1,694.01	42,680	67,862	生活必需品
CANARA BANK	2,326	—	—	—	金融
TATA CHEMICALS LTD	—	1,988.44	85,483	135,918	素材
ADANI PORTS AND SPECIAL ECON	8,450.56	4,918.56	101,814	161,884	資本財・サービス
UNION BANK OF INDIA	4,904	3,110	38,657	61,465	金融
ULTRATECH CEMENT LTD	—	376	126,477	201,098	素材
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	—	1,360	104,114	165,542	金融
LIC HOUSING FINANCE LTD	—	1,643	78,445	124,727	金融
ALLAHABAD BANK	8,925	—	—	—	金融
AUROBINDO PHARMA LTD	1,048	1,048	77,620	123,415	ヘルスケア
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	—	229	61,431	97,676	生活必需品
GODREJ CONSUMER PRODUCTS LTD	1,408.79	1,240.79	183,835	292,298	生活必需品
INDRAPRASTHA GAS LTD	—	699	43,009	68,385	公益事業
LUPIN LTD	—	119	17,409	27,681	ヘルスケア
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	1,793.08	1,793.08	52,689	83,776	一般消費財・サービス
ORIENTAL BANK OF COMMERCE	4,214	—	—	—	金融

銘柄	株数	当 株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
SHREE CEMENT LTD	—	92.43	124,369	197,747	素材	
SHRIRAM TRANSPORT FINANCE	1,289	1,289	149,530	237,753	金融	
TECH MAHINDRA LTD	2,663	803	43,434	69,060	情報技術	
EMAMI LTD	456.79	—	—	—	生活必需品	
TORRENT PHARMACEUTICALS LTD	1,022.01	499.51	66,964	106,473	ヘルスケア	
COX AND KINGS LTD	1,775.83	—	—	—	一般消費財・サービス	
SADBHAV ENGINEERING LTD	3,189.65	2,269.47	66,030	104,988	資本財・サービス	
COAL INDIA LTD	6,763	6,937	214,873	341,648	エネルギー	
INDUSIND BANK LTD	—	384	43,144	68,599	金融	
TREE HOUSE EDUCATION AND ACC	2,815.39	—	—	—	一般消費財・サービス	
BAJAJ CORP LTD	1,069.1	—	—	—	生活必需品	
NATCO PHARMA LTD	3,529.8	2,678.24	137,206	218,157	ヘルスケア	
KARUR VYSYA BANK LTD	1,367.4	—	—	—	金融	
PRESTIGE ESTATES PROJECTS	2,156.42	—	—	—	金融	
JUBILANT FOODWORKS LTD	—	166	17,453	27,750	一般消費財・サービス	
EICHER MOTORS LTD	—	68.6	127,851	203,283	資本財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	—	56	42,846	68,126	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	—	1,334	43,341	68,913	金融	
BHARTI INFRA TEL LTD	3,991	3,141	114,677	182,337	電気通信サービス	
ARVIND LTD	—	1,396	43,764	69,585	一般消費財・サービス	
MINDTREE LTD	363	—	—	—	情報技術	
INDIABULLS HOUSING FINANCE L	1,231.99	1,231.99	87,015	138,354	金融	
SREI INFRASTRUCTURE FINANCE	9,290.79	—	—	—	金融	
VA TECH WABAG LTD	536.35	—	—	—	公益事業	
STRIDES SHASUN LTD	672.04	672.04	75,470	119,997	ヘルスケア	
ZEE ENTERTAINMENT ENTERPRISE	—	940	43,033	68,422	一般消費財・サービス	
GAIL INDIA LTD	1,231	2,601	98,122	156,015	公益事業	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	9,605	2,211	25,592	40,691	素材	
INFOSYS LTD	1,237	332	39,506	62,815	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	1,631	1,463	221,468	352,135	資本財・サービス	
TATA MOTORS LTD	4,340.77	7,735.77	349,734	556,077	一般消費財・サービス	
BHARAT HEAVY ELECTRICALS	2,190	—	—	—	資本財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	5,609	5,296	638,247	1,014,813	金融	
ICICI BANK LTD	—	1,719	42,622	67,769	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	981	981	96,589	153,576	エネルギー	
OIL & NATURAL GAS CORP LTD	5,274	—	—	—	エネルギー	
ITC LTD	9,484	4,928	177,186	281,726	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	3,511	3,511	475,933	756,734	一般消費財・サービス	
HERO MOTOCORP LTD	—	356	109,078	173,434	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	6,339	3,951	139,035	221,066	電気通信サービス	
UPL LTD	—	2,023	118,325	188,137	素材	
SUN PHARMACEUTICAL INDUS	—	519	39,008	62,022	ヘルスケア	
AMBUJA CEMENTS LTD	5,130	1,832	43,711	69,501	素材	
VEDANTA LTD	2,812	1,910	22,862	36,351	素材	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	237,856.69	173,167.31	7,490,288	11,909,559	
	銘柄数<比率>	65銘柄	69銘柄		<86.6%>	
ファンド合計	株数、金額	245,468.02	178,986.64	—	12,797,414	
	銘柄数<比率>	67銘柄	71銘柄		<93.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## (2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国 SGX CNX NIFTY ETS (シンガポール)	百万円 546	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	12,797,414	90.9
コール・ローン等、その他	1,282,425	9.1
投資信託財産総額	14,079,840	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.68円、1インド・ルピー=1.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(13,585,425千円)の投資信託財産総額(14,079,840千円)に対する比率は、96.5%です。

## ■損益の状況

当期 自2015年12月17日 至2016年6月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	93,587,447円
受取配当金	93,540,151
受取利息	61,743
支払利息	△ 14,447
(B) 有価証券売買損益	△ 1,684,604,259
売買益	926,443,004
売買損	△ 2,611,047,263
(C) 先物取引等損益	23,583,638
取引益	80,926,045
取引損	△ 57,342,407
(D) その他費用	△ 8,812,649
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 1,576,245,823
(F) 前期繰越損益金	△ 5,977,276,042
(G) 解約差損益金	367,151,468
(H) 追加信託差損益金	△ 264,531,780
(I) 合計 (E + F + G + H)	△ 7,450,902,177
次期繰越損益金 (I)	△ 7,450,902,177

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,079,840,789円
コール・ローン等	871,470,212
株式 (評価額)	12,797,414,807
未収入金	276,325,102
未収配当金	19,096,007
差入委託証拠金	115,534,661
(B) 負債	333,600,046
未払金	322,600,046
未払解約金	11,000,000
(C) 純資産総額 (A - B)	13,746,240,743
元本	21,197,142,920
次期繰越損益金	△ 7,450,902,177
(D) 受益権総口数	21,197,142,920口
1万口当り基準価額 (C / D)	6,485円

\* 期首における元本額は21,520,472,608円、当期中における追加設定元本額は769,271,780円、同解約元本額は1,092,601,468円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 41,768,991円、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド21,155,373,929円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は6,485円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,450,902,177円です。